

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	6	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
有害鳥獣駆除事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業	
担当課・係等					
農政課農地保全係					

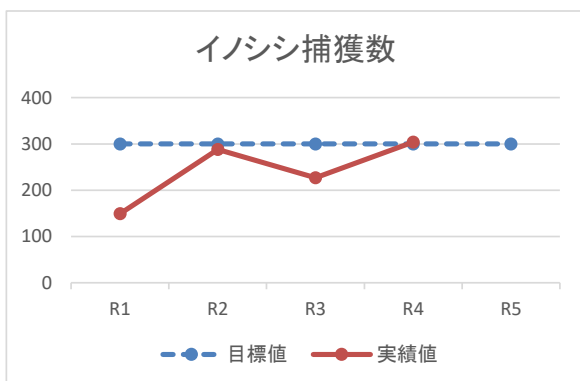
実施計画整理番号	
301040601	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	有害鳥獣による農作物被害、並びに生活環境の保全及び自然環境を保全するために、駆除や防除を行い、優良農地の保全を図る。 また、捕獲した野生獣の肉・毛皮などを使用した加工品などの副産物化を推進する。	鳥獣被害防止対策推進協議会に、負担金を交付することにより、捕獲や電気柵設置などの有害鳥獣対策を実施する。 加工品などの副産物化について調査研究を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	イノシシをはじめとする有害鳥獣の被害が課題となっており、農家の収穫量の不安定化や営農意欲減退を招いている。有害鳥獣対策を実施することで、農地の掘り起しや害害による農業被害の軽減が図られ、安定的な農家の収益安定につながり、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	20,234	23,729	23,497	20,234	21,234	21,199			
財源内訳	国補助	千円	3778	908	3,774	3778	905	905			
	県補助	千円		2890	2,449		3290	2,806			
	市債	千円									
	その他	千円					1,000	1,000			
	一般財源	千円	16,456	19,931	17,274	16,456	16,039	16,488			
	人工数	人		1.3			1.26				
	人件費	千円		9,832			19,059				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
猟友会や民間業者の鳥獣捕獲業務委託による駆除や電気柵による防除を行うことで、農作物被害の軽減を図る。	イノシシ捕獲数	頭	目標値 300	300	300	300
		実績値 288	227	304		
	電気柵設置面積	ha	目標値 7.8	7.8	7.8	7.8
		実績値 7.9	5.8	7.8		
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
鳥獣捕獲による駆除や防除を行うことで、農作物被害を削減するとともに、優良農地の保全を図る。		目標値				
		実績値				

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	6	有害鳥獣駆除事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	08	有害鳥獣駆除事業

整理番号
301040601

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣の捕獲活動として、猟友会及び各従事者、民間業者と連携し鳥獣捕獲業務委託を実施し、R4年度はイノシシ304頭、ニホンジカ1頭、アライグマ559頭、ハクビシン87頭、タヌキ157頭、キョン1頭の合計1,009頭を捕獲した。 ・電気柵設置事業として、市内農家に対し13件、約7.8haを設置し野生鳥獣による農地への侵入を防除した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ等の大型獣は毎年捕獲数にばらつきがあり、生息数や生息域の特定に至らず完全に農作物被害を無くせてはいない。アライグマ等の小動物については、山林や農地周辺に限らず、住宅地を含む市内全域に生息しており、完全駆除が難しい。 ・捕獲従事者の高齢化が懸念され、将来的な捕獲従事者の確保が必要である。 ・民間業者による加工処理施設において、ジビエの普及拡大、販路の確保が喫緊の課題となっている。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・完全駆除に向けて広域的な連携を強化していく。 ・猟友会との連携により、新規従事者の確保に努める。 ・民間事業者と協力してジビエの普及に努める。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>本事業は農業被害の軽減に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、ジビエの普及拡大等の調査・研究等を進めることで、事業効果高めるとともに、地元猟友会との連携により、捕獲従事者の確保に努めていただきたい。</p>	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	5	3	農林業	農産物のブランド化と販路拡大
実施計画事業名					
農産物直売所運営支援費					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費	
担当課・係等					
農政課振興係					

実施計画整理番号	
301050301	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	消費者に地元で収穫された新鮮で安全安心な農作物を供給する直売所の充実が図られる。併せて、直売所の需要に合わせた少量多品種の農作物生産を推進することで、生産者の所得安定と農業振興が図られる。	安定的な農作物の供給を図るため、直売所の適切な維持管理に努める。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

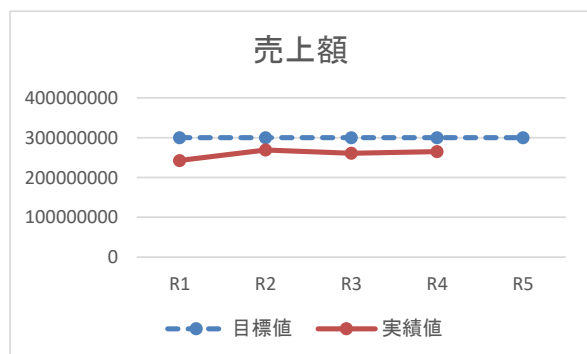
地元消費者に対し、地元で生産された安心安全な農作物を提供する場として農産物直売所の適切な維持管理を行う。また、さらなる充実を図ることにより、施策「農産物のブランド化と販路拡大」に寄与することができる。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,992	1,992	1,958	1,992	1,992	1,958			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958	1,958			
	一般財源	千円	34	34	0	34	34	0			
	人工数	人	0.53			0.53					
	人件費	千円	3,971			3,971					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
直売所の安定的な運営を支援するため、継続して施設用地の借り上げを実施する。		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
生産者の所得安定と農業振興を図る。	直売所の売上額	円				
		目標値	300,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000
		実績値	269,007,919	260,752,662	265,037,104	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	5	3	農産物直売所運営支援費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	07	農産物直売所運営支援費

整理番号
301050301

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・直売所施設用地を借り上げるにより、直売所の安定的な運営を支援した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
<p>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・引き続きのコロナ禍の状況下であったが、売上は維持している。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・引き続き直売所の運営を支援するとともに、来場者アンケート等により、商品の品質や、品ぞろえ等、来場者のニーズを把握し、直売所の売上の向上、ひいては生産者の所得安定と農業振興を図っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>農産物直売所の適切な維持管理を行うことで、生産者の所得安定と農業振興につながると認められる。引き続き、来場者ニーズを把握することで、直売所の充実を図り、本市の農業振興に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	5	4	農林業	農産物のブランド化と販路拡大
実施計画事業名					
茂原六斎市再活性化事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業	
担当課・係等					
農政課振興係					

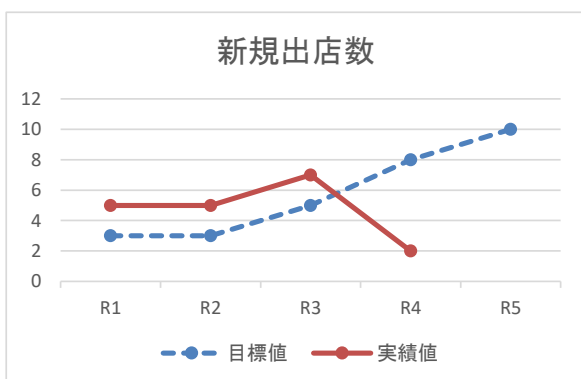
実施計画整理番号	
301050401	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
		茂原六斎市再活性化協議会が実施する様々な活動やイベント等により、歴史ある茂原六斎市の再活性化が図られる。農業者による新鮮野菜等の新たな販路となることで農業生産を豊かなものにする。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	農業振興や、農業者の販路の一つとなるとともに、歴史と伝統ある「市」が、本市で行われていることで、地域活性化にもつながる。「市」の再活性化を支援することで、地域活性化につながり、ひいては施策「農産物のブランド化と販路拡大」に寄与している。	

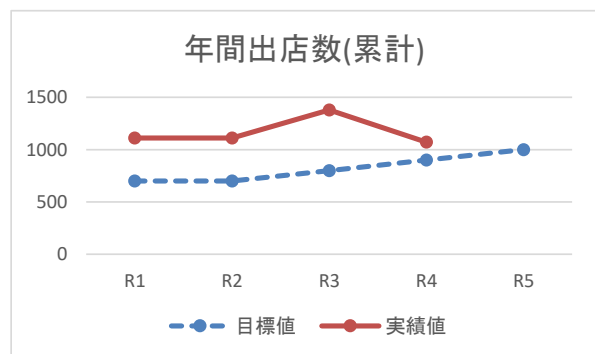
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	150	150	150	150	150	150			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	150	150	150	150	150	150			
	人工数	人	0.73			0.73					
	人件費	千円	5,483			5,483					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
六斎市の認知度向上を目指し、イベントの実施などでPRを行う。	新規出店数	回	3	5	8	10
		実績値	5	7	2	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
「市」が再活性化されるとともに、新たな販路拡大により農業者の意欲向上が図られる。	年間出店数(累計)	店	700	800	900	1,000
		実績値	1,112	1,379	1,071	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	5	4	茂原六斎市再活性化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	10	茂原六斎市再活性化事業

整理番号
301050401

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・茂原六斎市の再活性を図るためにも、市が江戸時代から続くとされる伝統ある市であることなど、改めて認知度を向上させるために、市をPRする横断幕を市役所ロビーに設置した。
- ・2年ぶりに茂原六斎市&マルシェを開催し、例年を上回る出店があり、再活性化をPRした。
- ・新たな取り組みとして、若い世代に六斎市を知ってもらうため、市内県立高校で取り組んでいるキャリア教育ゼミの生徒が出店した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・新規出店は増えているものの、出店者の高齢化が進んでいる。
- ・教育ゼミの生徒による出店は、若い世代への継承を図るためにも、良い機会となった。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・若い世代の出店者を増やすためにも、市内高校等、他団体との連携を図り、取り組んで行く。

企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当 農業者の新たな販路の創出及び地域活性化を図るための事業ではあ るが、効果の程度について判断が難しい。引き続き、出店者の増加を 図るとともに、再活性化の手法及び茂原六斎市の認知度向上の施策を 関係機関と連携し進めていきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	6	1	農林業	林業の振興
実施計画事業名					
森林整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	01	02	森林整備事業	
担当課・係等					
農政課農地保全係					

実施計画整理番号	
301060101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	森林環境譲与税を活用し、市内民有林の適切な保育・管理を行い、土砂災害の防止など森林のもつ公益的機能の向上とともに里山の保全が図られる。	森林整備計画の策定業務委託を行う中で、森林の現況を把握し、整備の指標となるゾーニングを明確にすることで、適切な間伐を行っていく。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

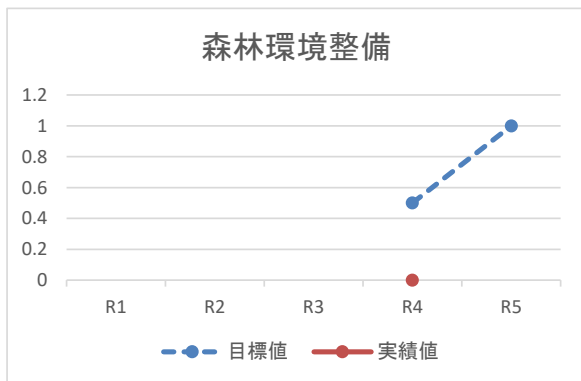
市内人工林において、近年では整備の行き届いていない放置森林が増加し、整備を行う必要がある。森林環境譲与税を活用し土砂災害の防止など、森林の持つ公益的機能の保全に向けた森林整備、森林と林道の計画的な整備、を行うことで、ひいては施策「林業の振興」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,683	4,270	3,970	12,033	15,593	15,506			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	3,683	4,270	3,970	12,033	11,876	11,876			
	一般財源	千円	0	0	0	0	3,717	3,630	0	0	0
	人工数	人	0.9			1.1					
	人件費	千円	6,806			16,639					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
令和3年度に策定した森林環境整備基本計画を基に、森林環境整備業務委託を行い、市内人工林の整備を実施する。	森林環境整備面積	ha	0	0	0.5	1
		実績値	0	0	0	
成果	成果指標	単位				
		実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	6	1	森林整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	01	02	森林整備事業

整理番号
301060101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・林地崩壊に伴い、崩落地の状況や旧県道との境界が不明確であったため、現地測量、路線測量、用地測量業務を実施した。 ・令和3年度に策定した森林環境整備基本計画に基づき、優先順位の高いA地区(小萱場、法目、萱場、弓渡、御蔵芝)から、主要インフラ周辺かつ緊急性の高い民有林森林所有者への意向調査を実施した。 ・次年度以降の森林環境整備を目的とした茂原市森林環境整備基金へ積立てを実施した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・市内森林の現況把握ができておらず、手入れのされていない森林が多い状況にある。 ・風倒木により災害の危険のある区域についても、その詳細は把握していないため、民間企業と連携し、データ管理を行う必要性が求められる。 ・意向調査業務で間伐・植栽といった整備を市が実施することに同意を得られた箇所の間伐業務を実施するための調査・設計に時間を要する。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税を活用し、計画的な森林環境整備を優先順位に基づき実施していく。 ・設計業務委託を実施することで、職員の事務の負担軽減や効率化を図っていく。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 市内人工林の適切な保育・管理を実施することで、森林の公益的機能向上や里山の保全につながるものと認められる。引き続き、計画的な環境整備に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	1	2	商工業・中小企業	商業基盤の整備
実施計画事業名					
商業振興対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	04	商業振興対策事業	
担当課・係等					
商工観光課 振興係					

実施計画整理番号	
302010201	
総合戦略整理番号	12201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が共同で実施するソフト事業や施設整備を支援し、中心市街地の活気と賑わいを創出する。 ・商店街及び商業事業者を支援することで、本市の商業機能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が共同で実施する販売促進事業や空き店舗対策等を支援する。 ・商店街が共同で設置する駐車場や街路灯などの施設に係る費用負担を軽減する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

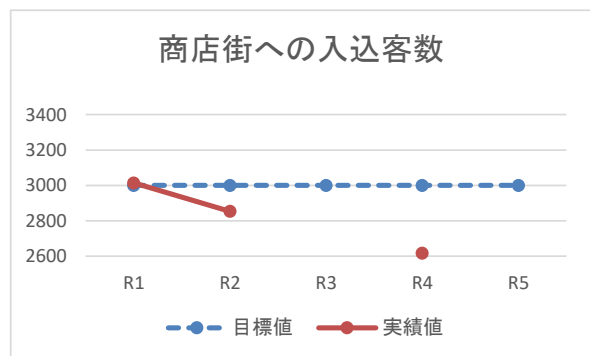
商店街の環境整備や商業機能の充実にに向けた取り組みを支援することにより、ひいては施策「商業基盤の整備」に寄与する

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,650	1,650	1,073	1,350	1,350	933			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,650	1,650	1,073	1,350	1,350	933			
	人工数	人	0.29			0.29					
	人件費	千円	2,194			2,194					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
商店街の環境整備や商業機能の充実にに向けた取り組みに対し支援を行う	各商店街等へのニーズに応じた支援	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	目標値				
		実績値				
まちの活気とにぎわいを創出する	各商店街への入込客数(調査は隔年実施)	人	3,000	3,000	3,000	3,000
			2,853	—	2,617	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	1	2	商業振興対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	04	商業振興対策事業

整理番号
302010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・賑わい店舗創出事業や共同施設の維持管理事業において商店街を支援し、安全・安心な商店街の形成に寄与した。 ・茂原市商店会連合会のスタンプラリーに対し支援した。 		
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・組織数や会員数の減少が進む商店街のあり方について考える必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街や茂原商工会議所などの関係機関と協議を行う。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>商店街の環境整備等を支援することで、安全・安心な商店街の形成に一定の成果があったと認められる。一方で商店街のにぎわいの創出に効果があるとは判断できない。本市における商店街を取り巻く環境を鑑み、事業実施の方向性について検討いただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	2	1	商工業・中小企業	工業の振興
実施計画事業名					
企業立地促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	06	企業立地促進事業	
担当課・係等					
商工観光課振興係					

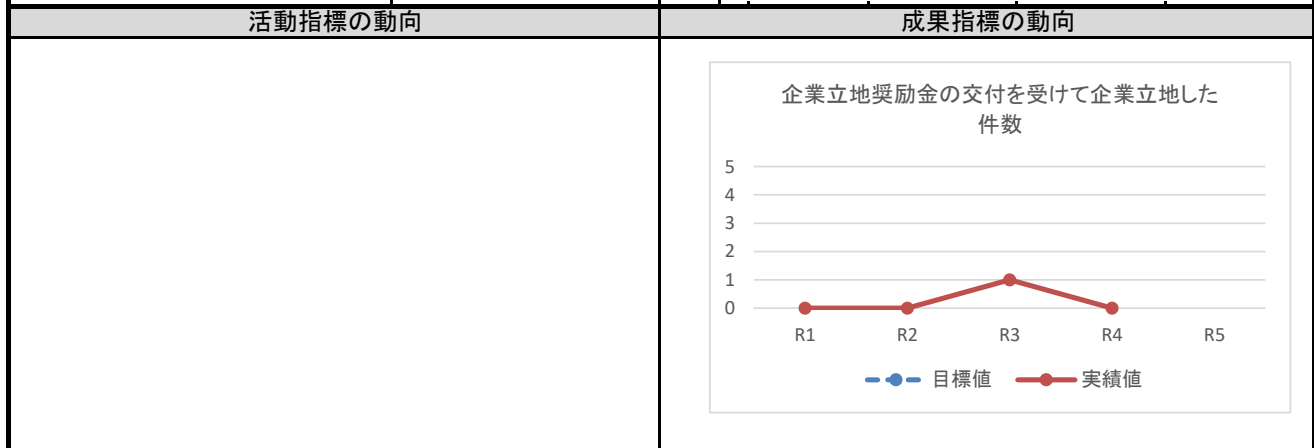
実施計画整理番号	
302020101	
総合戦略整理番号	11101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	・企業立地を促進し、本市における就業機会の拡大、定住人口の増加を図る。	・企業動向を踏まえた効果的かつ効率的な企業訪問を実施する。 ・進出した指定事業者に対し奨励金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

産業構造が大きく変化している中、新たな産業に対応した企業誘致の推進により地域全体の産業競争力を高め、ひいては施策「工業の振興」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	51,887	51,887	51,454	50,387	60,389	10,297			
	国補助	千円					10,000	9,989			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	51,887	51,887	51,454	50,387	50,389	308			
	人工数	人	1.08			1.18					
	人件費	千円	8,169			8,924					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
企業動向を踏まえた効果的かつ効率的な企業訪問を実施する。	企業情報の収集及び本市の情報発信の強化	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	目標値				
		実績値		1		



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	2	1	企業立地促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	06	企業立地促進事業

整理番号
302020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市製造業ガイドブックを作成し、市内製造業の販路拡大や求職者の就職支援に活用した。 ・企業訪問や企業誘致セミナーの参加等により情報収集を行った。 ・企業立地奨励金は当該企業が事業を廃止したため交付しなかった。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・空き公共施設や有休工場跡地など立地候補地についての情報収集や情報提供が課題である。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致活動に有効な企業情報の収集及び本市の情報発信の強化を図る。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>企業立地による就業機会の拡大、定住人口の増加につながる事業と認められる。引き続き、企業情報の収集等及び本市に立地する優位性の情報発信に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	2	2	商工業・中小企業	工業の振興
実施計画事業名					
雇用促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	08	ちば共創都市圏広域連携協議会共同事業	
担当課・係等					
商工観光課 振興係					

実施計画整理番号	
302020201	
総合戦略整理番号	12101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>・千葉県以東、以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、持続可能な都市、地域社会の形成を推進する。</p>	<p>・ちば共創都市圏広域連携協議会(千葉市、市原市、茂原市、大網白里市、東金市、四街道市)の事業として圏域内企業の優れた技術や製品等を紹介する。 ・中学生向けのパンフレット等を作成し、ものづくりや地元へ関心を持つよう促す。 ・既存企業のマッチングによる販路拡大や技術交流等を図る。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

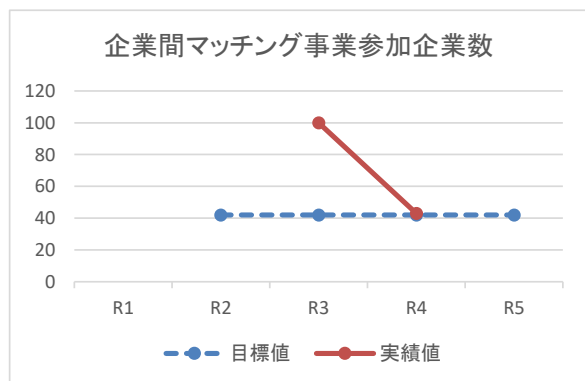
千葉県以東・以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、ひいては施策「工業の振興」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	459	459	403	459	459	416			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	459	459	403	459	459	416			
	人工数	人	0.38			0.38					
	人件費	千円	2,874			2,874					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
圏域内企業の優れた技術や製品等の紹介及び既存企業のマッチングによる販路拡大や技術交流等を図る。	企業間マッチング事業参加企業数	社	42	42	42	42
		実績値	中止	100 (オンライン開催)	43	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
千葉県以東、以南の周辺都市との広域連携により産業人材の育成や企業立地などを促進し、持続可能な都市、地域社会の形成を推進する。	広域連携による産業人材の育成や企業立地などの促進	目標値				
		実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	2	2	雇用促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	08	ちば共創都市圏広域連携協議会共同事業

整理番号
302020201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 千葉市、市原市、四街道市と連携して、中学生向けのパンフレットを作成し、ものづくりや地元企業に関心を持つよう促した。 千葉市、市原市、東金市と連携して、「食」をテーマに関連事業者のマッチングイベントを実施した。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> マッチングさせる業種や、集客方法を検討する必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
引き続き千葉市以東・以南の周辺都市(千葉市、市原市、茂原市、大網白里市、東金市、四街道市)との共同事業に参加し、情報収集や連携を図っていく。	
企画政策課の評価	評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	広域連携により産業人材の育成や企業立地などの促進に資する事業と認められる。引き続き、関連自治体との連携、情報収集に努めていきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	1	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
商工団体支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	05	商工団体支援事業	
担当課・係等					
商工観光課 振興係					

実施計画整理番号	
302030101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
事務事業の概要 (PLAN)	・商工業振興のための事業や小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業を通じ、中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化を図る。	・茂原商工会議所が実施する商工業発展のための事業及び小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業に対し補助金を交付する。 ・県内商工団体に加盟し、指定団地の高度化、県内経済に関する情報収集、他団体との連携を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	商工業振興のための事業を展開する商工会議所への支援を通じ、市内商工業者・小規模事業者の振興を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
			事業費	千円	8,893	8,893	8,653	8,893	8,893	8,696	
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	8,893	8,893	8,653	8,893	8,893	8,696			
	人工数	人	0.29			0.29					
	人件費	千円	2,194			2,194					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
商工業振興のための事業を展開する商工会議所への支援を行う	商工会議所に対し補助金を交付	目標値				
		実績値				
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化を図る。	中小企業の経営の近代化と地域産業の活性化	目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	3	1	商工団体支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	05	商工団体支援事業

整理番号
302030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原商工会議所が行う商工業支援のための事業を支援した。 ・茂原商工会議所が行う小規模事業者の経営や技術の改善・発展のための事業を支援した。 ・千葉県指定団地協議会や千葉県経済協議会に参加し、連携を図った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原商工会議所の事業を支援することにより、市内商工事業者の振興を図ることができた。 ・物価高騰などの状況に対応した経営支援に向けて茂原商工会議所と連携していく必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き、茂原商工会議所の事業を支援し、市内商工事業者の振興を図るとともに、より効果的な事業となるよう連携していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>商工会議所を支援することで市内商工業者・小規模事業者の振興に資する事業と認められる。引き続き、更なる地域産業の活性化を図るため、商工会議所との連携に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	2	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
中小企業者等振興総合支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	8	中小事業者サポート事業	
担当課・係等					
商工観光課 振興係					

実施計画整理番号	
302030201	
総合戦略整理番号	12102

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>・市内中小企業の経営向上を目指した取り組みを支援し、事業活動の活性化を図る。</p>	<p>・中小企業が取り組む幅広い分野における事業活動の活性化に向け、包括的に補助金を交付し、経済的負担を軽減する。</p> <p>・必要に応じたメニューの見直し等を実施する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>中小企業者が取り組む販路拡大、人材確保・育成などのついて総合的な支援を行うことにより、持続的な成長や振興を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。</p>		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,010	2,010	189	2,310	2,910	2,252			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,010	2,010	189	2,310	2,910	2,252			
	人工数	人	0.39			0.39					
	人件費	千円	2,950			2,950					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市内中小企業の経営向上を目指した取り組みを支援。	補助金を交付し、経済的負担を軽減	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	目標値				
		実績値				
市内中小企業の事業活動の活性化を図る。	中小企業者のニーズに応じた総合的な支援の実施	単位				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	3	2	中小企業者等振興総合支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	8	中小事業者サポート事業

整理番号
302030201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・中小事業者に対し事業活動を支援することで、経済的負担を軽減した。
- ・支援制度を見直し、制度を利用しやすくなった結果、支援件数が増加した。
- ・コロナ禍で中止していた工場見学会について、小学校高学年とその保護者を対象に3年ぶりに開催し、市内工業の大切さや面白さを直に感じてもらうことができた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・制度利用希望者が増加していることから、さらなる支援制度の拡充が必要である。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・引き続き、希望者のニーズに沿った支援制度の拡充に努める。

企画政策課の評価	評価理由
A	<div style="display: flex; border-left: 1px dashed black; padding-left: 5px;"> <div style="width: 30%; font-size: x-small;"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 </div> <div style="padding-left: 10px;"> 中小企業者の事業活動の活性化に資する事業と認められる。引き続き、利用者のニーズを的確に把握し、より効果的な事業展開に努めていただきたい。 </div> </div>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	3	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
中小企業資金融資事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	01	中小企業資金融資事業	
担当課・係等					
商工観光課 振興係					

実施計画整理番号	
302030301	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>・大企業に比べ資金調達面で多くの不利益を抱えた中小企業が、事業資金の融資を円滑に受けられるようにすることで中小企業の振興と経営の安定化を図る。</p>	<p>・市内5行11支店の金融機関及び商工組合中央金庫千葉支店に資金を預託し、中小企業への資金融資を行う。 ・茂原市制度融資利用者及び日本政策金融公庫小規模等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

中小企業が事業上必要な資金を円滑に融資することにより、企業の振興と経営の安定化を図り、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	535,386	535,199	525,882	505,386	502,624	493,943			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	515,000	515,000	515,000	485,000	485,000	485,000			
	一般財源	千円	20,386	20,199	10,882	20,386	17,624	8,943			
	人工数	人	0.58			0.58					
	人件費	千円	5,143			5,143					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
<p>・市内5行11支店の金融機関に資金を預託し、中小企業への資金融資を行う。 ・茂原市制度融資利用者及び日本政策金融公庫小規模等経営改善資金融資制度利用者に対し、利子補給を行う。</p>		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
企業の振興と経営の安定化を図る		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	3	3	中小企業資金融資事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	01	中小企業資金融資事業

整理番号
302030301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市中小企業融資制度の原資として、市内金融機関へ預託を行った。 ・預託の内容を見直し、茂原市中小企業制度融資制度の預託金は総額を500,000千円から485,000千円へ、商工組合中央金庫の預託金は15,000千円から0円とした。 ・茂原市中小企業融資制度の利用者に対して、利子補給を行った。 ・日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資制度(マル経)の利用者に対して、利子補給を行った。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な融資及び利子補給により、中小企業者等の安定した資金調達、経営の安定と振興を図ることができた。 ・金利上昇の傾向があることから、事業者が利用しやすい融資制度とするため、預託額や融資枠、利率等について検討の必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、融資及び利子補給により、中小企業者等の安定した資金調達、経営の安定と振興を図る。 ・預託額や融資枠、利率等について金融機関と協議を行っていく。 			
	企画政策課の評価		評価理由	
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 		中小企業の振興と経営の安定化に資する事業と認められる。引き続き、関係機関との連携を図り、事業者がより利用しやすい制度となるよう努めていただきたい。		

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	2	3	4	商工業・中小企業	中小企業の支援
実施計画事業名					
起業・創業支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	02	03	起業・創業支援事業	
担当課・係等					
商工観光課 振興係					

実施計画整理番号	
302030401	
総合戦略整理番号	11201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市創業支援等事業計画に基づき、潜在的な創業希望者を掘り起こすとともに、本市における創業機運を醸成する。 ・創業者・創業希望者を対象に、創業における基礎的な知識から実践的な知識の習得を図る。また、創業者・創業希望者の交流機会を創出し、新たなネットワークを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業希望者に対して起業・創業の各段階に応じた継続的な支援を、商工会議所などの関係機関との連携強化及び相談窓口のワンストップ化などにより行う。 ・市内で起業・創業する者に対し、起業・創業時の経済的負担の軽減を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

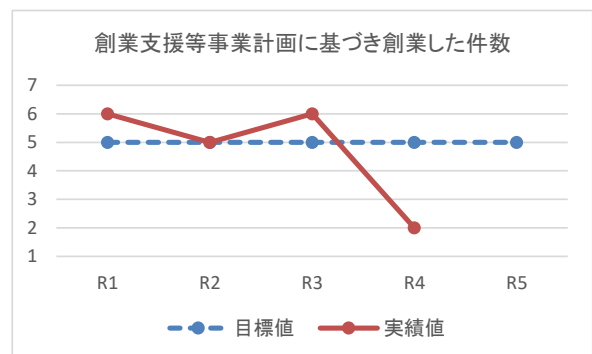
起業・創業希望者に対し学ぶ機会を確保することにより起業・創業の機運を高め、ひいては施策「中小企業の支援」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,457	2,457	1,815	2,457	2,457	1,307			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,457	2,457	1,815	2,457	2,457	1,307			
	人工数	人	0.39			0.39					
	人件費	千円	2,950			2,950					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
<ul style="list-style-type: none"> ・各種媒体を活用し、創業支援制度のPRIに努めた。 ・茂原商工会議所が開催した「茂原創業塾」を支援した。 ・新規創業者に対し補助金を交付することで経済的な負担を軽減した。 		目標値					
		実績値					
	成果	成果指標	目標値				
			実績値				
創業者を支援することで本市における開業率を向上させ、地域の活性化、雇用の確保を図る。	創業支援等事業計画に基づき創業した件数	目標値	5	5	5	5	
		実績値	5	6	2		

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	2	3	4	起業・創業支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	02	03	起業・創業支援事業

整理番号
302030401

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市創業支援等事業計画に基づき、茂原商工会議所が開催した「茂原創業塾」の支援を行った。 ・新規創業者に対し支援を行うことで経済的な負担を軽減した。 ・「起業家交流会」はコロナ禍により開催できなかった。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業希望者や創業者に対して、茂原商工会議所や市内金融機関等と連携のうえで各段階に応じた支援を実施し、地域の活性化に寄与した。 ・コロナ禍で開催できなかった「起業家交流会」については、これまでも開催し有効性があることから、開催する方法を検討する必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き起業・創業希望者や創業者に対して、茂原商工会議所や市内金融機関等と連携のうえで各段階に応じた支援を実施していく。 ・「起業家交流会」について、茂原商工会議所と連携し、開催方法を検討していく。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>本事業は、創業者への支援を実施することで起業・創業の機運上昇につながるものと認められる。引き続き、起業・創業希望者のニーズを把握し、より効果的な支援に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
3	3	1	1	シティプロモーション
実施計画事業名				
観光振興事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	01	観光振興事業
担当課・係等				
商工観光課 観光経済係				

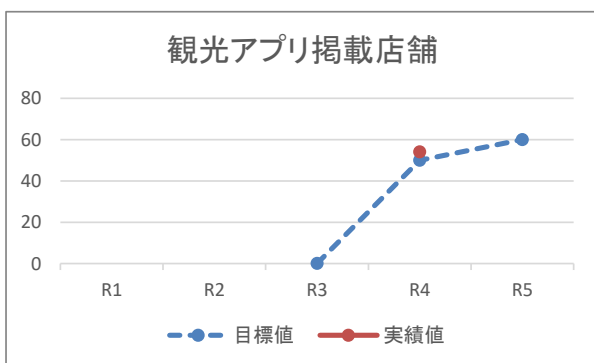
実施計画整理番号	
303010101	
総合戦略整理番号	32101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>観光イベントの充実と広域連携による観光資源の整備により、まちの魅力を向上させるとともに効果的に情報発信することで、年間を通じ本市を訪れる観光客の増加を図る。</p> <p>基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)</p> <p>近年大量に集客する観光から個人のニーズを大切にす観光に変化しており、またコロナ禍による新しい生活様式に対応した「安全・安心」の観光へと急速に変化を求められている。個人趣向も複雑になっており、個性ある地域がこれから脚光を浴びる時代になった。新たな観光資源の開発、磨き上げを行うことで施策「観光資源の整備」に寄与する。</p>	<p>・茂原七夕まつり実行委員会、茂原市観光協会、茂原秋まつり運営協議会への補助金の交付。</p> <p>・観光ガイドブックや観光大使の活用によるまちの魅力発信。</p> <p>・各種関連団体への負担金の拠出。</p>

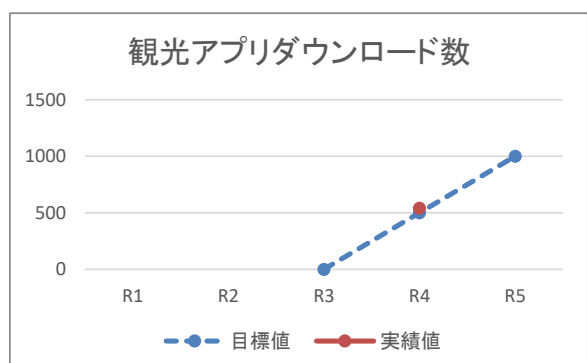
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	18,384	4,284	4,060	18,264	7,964	7,860			
	国補助	千円		1,000	1,000		2,500	2,500			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	12	12	6	12	6	2			
	一般財源	千円	18,372	3,272	3,054	18,252	5,458	5,358			
	人工数	人		1.3			1.3				
	人件費	千円		9,832			9,832				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
<p>・茂原市観光協会と協働し、本市の魅力を伝えるためのターゲットニーズに応えることのできる観光パンフレット配架に加え、DXに対応したスマホ用観光アプリの内容の充実に努める。</p> <p>※DX…デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術により生活やビジネスが変容していくこと。</p>	観光アプリ掲載店舗の拡大	店			50	60
		店			52	
	観光パンフレット配架協力店舗の拡大	店	15	20	25	30
		店	15	44	78	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
<p>・本市周辺だけではなく、広範囲に向けた効果的な情報発信による観光客誘致を図り、地域経済の活性化につなげる。</p>	観光アプリダウンロード数	回			500	1,000
		回			448	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	3	1	1	観光振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	01	観光振興事業

整理番号
303010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・茂原市観光協会を支援することにより、市内観光パンフレットの配架店舗の増加や、スマホ用観光アプリの内容を充実させた。</p> <p>・茂原七夕まつり実行委員会を支援し、冬の七夕まつりでは、開催場所を変更したことで、来場者数を大幅に増加させた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・配架店舗の開拓や、アプリ掲載店舗の開拓には人員と時間が必要であり、新規開拓が難しくなってきたとの相談がある。</p> <p>・新型コロナの影響によって中止が続いていたイベントの再開については、関係機関と十分な打ち合わせが必要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・観光客に関するデータ収集、蓄積を行い、ニーズの把握及び効果的な情報発信を行うことで、効率的に観光客の誘致を行う。</p> <p>・情報発信においては、SNSを最大限活用し、複雑化する個人趣向に対応していく。</p> <p>・イベントの開催においては、関係機関との連携を強化し、開催に向けての準備を入念に行っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>本事業は、観光客の増加と地域経済の活性化に資する事業と認められる。引き続き、観光資源の整備を図るとともに、より効果的な情報発信に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
3	3	3	1	シティプロモーション
実施計画事業名				
シティプロモーション事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業
担当課・係等				
企画政策課・政策推進室				

実施計画整理番号	
303030101	
総合戦略整理番号	32305

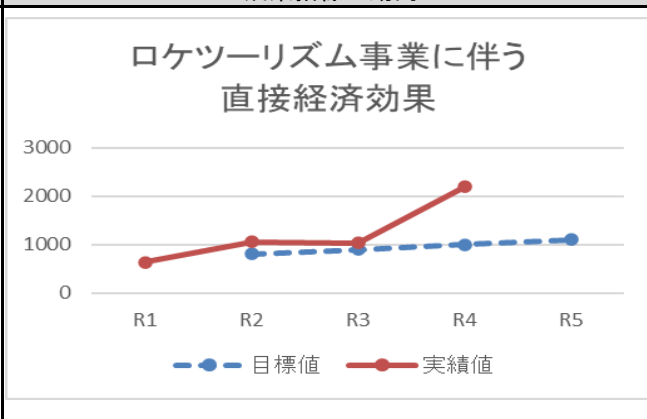
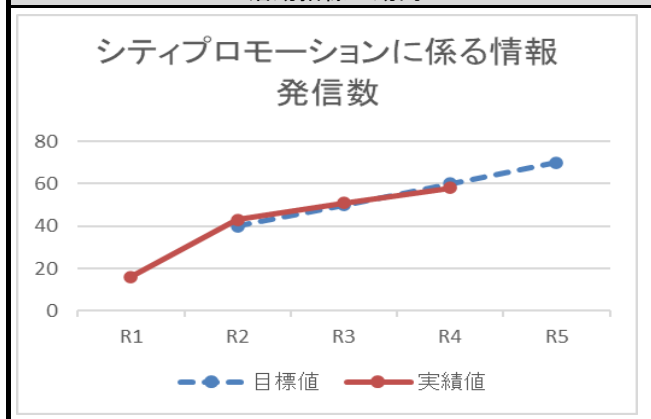
事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
人口減少や高齢化が急速に進む中、地方都市の生き残りに向けた取り組みが大きく注目されている。そこで、地域のもつ魅力を戦略的にアピールをし、市の認知度や市民の地域に対する愛着度を高め、選ばれるまちとして関係人口・交流人口・定住人口の増加を図る。また、地域経済の活性化を図る。	計画年度を終了したシティプロモーションの基本方針の考え方を引き継ぎ、地域の持つ資源を再認識や活用した行政だけでなく、市民や事業者と一体となった移住・定住推進のための情報発信を行う。その方法として映画やテレビドラマ等の撮影誘致によるロケツーリズムを通じたまちづくりを推進する。
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
様々な市民や事業者の参画を得ながらロケツーリズムを通じたまちづくりを推進し、茂原ブランドの浸透・共有と地域情報流通の促進を相互補完的に実施することで、施策「移住定住の促進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	9,181	9,181	9,126	9,181	9,518	9,426			
	国補助	千円	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,681	4,681	4,626	4,681	5,018	4,926			
	人工数	人	1.6			1.6					
	人件費	千円	12,101			12,101					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
計画年度を終了した茂原市シティプロモーション基本方針の考え方を引き継ぎ、市民や事業者と一体となった移住・定住促進のための施策を行う。	シティプロモーションに係る情報発信数	人	40	50	60	70
		実績値	43	51	58	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
地域の持つ魅力を戦略的にアピールし、市の認知度や市民の地域に対する愛着度を高め、選ばれるまちとして関係人口・交流人口・定住人口の増加、地域経済の活性化を図る。	ロケツーリズム事業に伴う直接経済効果	万円	800	900	1,000	1,100
		実績値	1,056	1,031	2,190	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	3	3	1	シティプロモーション事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業

整理番号
303030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・千葉もばらロケーションサービスセミナー、シンポジウムを開催し約150人の参加があった。 ・ロケツーリズム事業については、撮影問合せ件数308件、撮影決定件数52件となり、宿泊やロケ弁当など、市内で消費された直接経済効果は約2,000万円となった。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
ロケツーリズム事業の推進により、一部ではあるが地域経済の活性化が図られ、「ロケで話題のまち」としての茂原ブランドの浸透に向けて事業が進捗している。今後は市民と事業者との連携を深め、茂原市の魅力を情報発信してくれる人材を育成することに力を入れていく必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
ロケツーリズム事業の推進により、地域経済の活性化が図られ、茂原市のブランドの浸透に向けて事業が進捗している。引き続き、ロケツーリズム事業を推進することに加え、情報発信に関するセミナーの開催などを通じ、茂原市の情報発信に関するキーパーソンを育成していく。	
企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当
市の認知度や市民の地域に対する愛着の醸成に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、関係人口・交流人口の増加及び地域経済の活性化が図られるよう、市民及び市内事業者等との連携した事業展開に努めていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	3	3	1	シティプロモーション	移住定住の促進
実施計画事業名					
マスコットキャラクターPR事業					

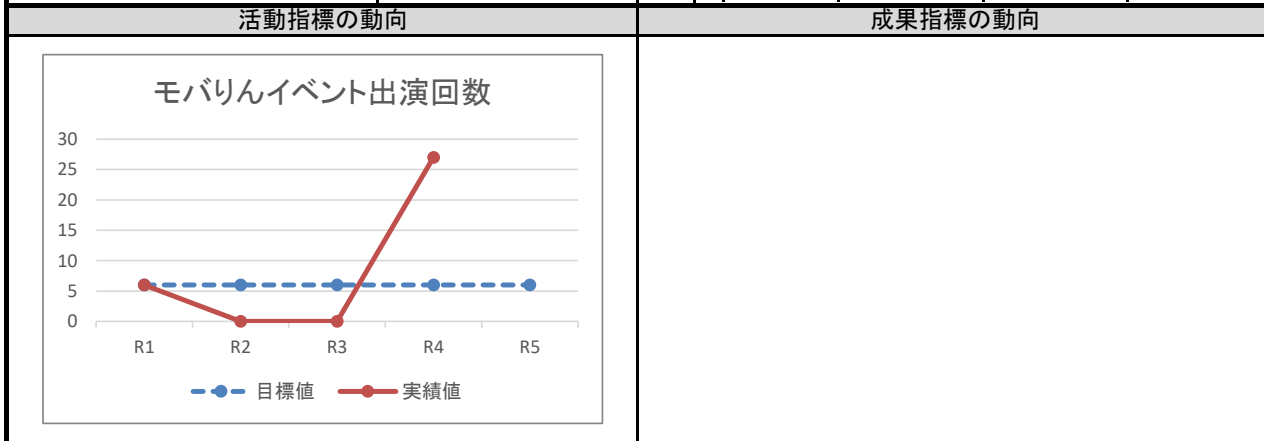
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	03	2	マスコットキャラクターPR事業	
担当課・係等					
商工観光課 観光経済係					

実施計画整理番号	303030102
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	マスコットキャラクター「モバリん」を活用し、本市のPR活動を実施することで、地域住民の郷土愛の醸成と域外での知名度を向上させ、地域振興を図る。	・観光協会と協働し、キャラクターグッズの開発、販売により幅広い年齢層への浸透を図る、 ・本市の認知向上のためイベントに参加する。 ・着ぐるみの利用促進を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
マスコットキャラクター特有のユルさを利用することで、堅いイメージのある歴史的・文化的観光資源等に対するイメージを変えるなど、今までのターゲット層にとらわれず、本市の魅力をもPRすることで、施策「観光資源の整備」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	521	521	305	521	447	267			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	45	45	106	45	45	24			
	一般財源	千円	476	476	199	476	402	243			
	人工数	人		0.4		0.4					
	人件費	千円		3,025		3,025					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・観光協会と協働による一般向けモバリんグッズの開発。 ・堅いイメージのある観光資源へ積極的なモバリんの活用。 ・イベントへの積極的な参加。	モバリんグッズの開発	種類	1	1	1	1
	イベントへの出演	回	6	6	6	6
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・茂原市の認知向上につながり、歴史・文化に対するイメージを変えることで新たな観光資源の発掘と、シビックプライドの醸成を図る。	茂原市の認知度向上とシビックプライドの醸成	目標値	維持します	維持します	維持します	維持します
		実績値				



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	3	3	1	マスコットキャラクターPR事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	2	マスコットキャラクターPR事業

整理番号
303030102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・テレビ番組や、市内保育園、幼稚園、市民活動団体が行うイベントにモバリんが出演することで茂原市民のシビックプライド醸成につながった。
- ・スポーツイベントなど、多種のイベントに参加することにより茂原市の認知度向上に貢献した。
- ・茂原市の周年事業に伴い、グッズを8種類開発。その内、金や銀を使ったグッズについては市内企業と共同で開発を行った。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・モバリん着ぐるみの貸し出しについて、返却時の注意事項が守られないこともあり、破損劣化の原因になっている。
- ・観光協会からの要望である販売価格の値上げやキャッシュレス決済の導入について検討する必要がある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑥その他

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・モバリん着ぐるみの貸し出しについて、使用及び返却時の注意事項を再確認する。
- ・キャッシュレス決済の導入やモバリんグッズの販売価格について、メリットデメリットを含め協議する。

企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	地域住民の郷土愛の醸成と本市の知名度向上に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、本市の認知度向上のため、積極的なPR活動に努めるとともに、より効果的、効率的な運用等について関係機関と連携を図っていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
3	3	3	2	シティプロモーション
実施計画事業名				
三世代同居等支援事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	03	三世代同居等支援事業
担当課・係等				
建築課住宅政策係				

実施計画整理番号	
303030201	
総合戦略整理番号	31101

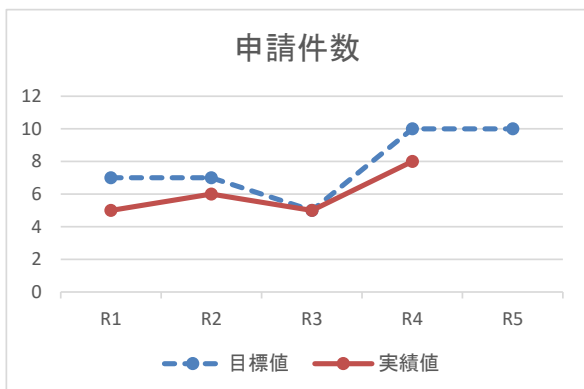
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	親世帯または子世帯の一方が転入し、三世代(親・子・孫)で同居・近居をする世帯に住宅取得等の費用の一部を補助することにより、生活基盤の安定による移住・定住を促進する。また、助成の上乗せ支援による地元企業の利用促進も図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅取得等の費用の1/2を助成する。ただし、助成額の上限は次のとおり。新築・購入・増築は上限50万円(市内転入が条件、市内業者施工で上限50万円。) ・広報、市公式ウェブサイト等による制度周知及び関係団体・住宅展示場等への周知を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

三世代で同居等をする世帯に住宅の取得等の費用を一部補助することにより、施策「移住定住の促進」に寄与する。

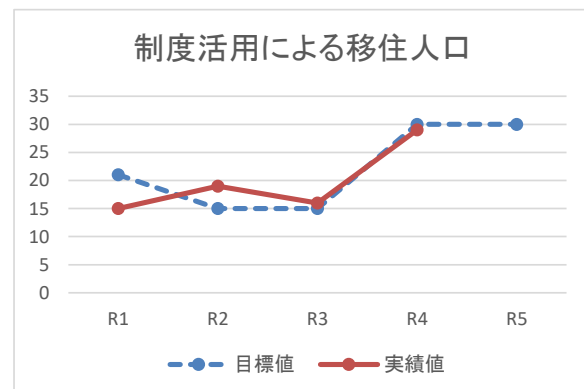
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	5,000	5,000	4,600	5,000	5,000	2,600			
	国補助	千円	2,250	2,250	2,070	2,250	2,250	1,170			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2,750	2,750	2,530	2,750	2,750	1,430			
	人工数	人	0.4			0.4					
	人件費	千円	3,025			3,025					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市外に住んでいる方に対し、補助金の情報が伝わるように、住宅展示場や市内の住宅メーカー等への周知を図り、予定申請件数に達するよう努める。	申請件数	件	7	5	10	10
		実績値	6	5	8	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		人	21	15	30	30
移住人口の増加につなげる(一世帯3人換算)	制度活用による移住人口	実績値	19	16	29	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	3	3	2	三世代同居等支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	03	三世代同居等支援事業

整理番号
303030201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金額を100万円から50万円に下げ、より多くの受益者の移住・定住の促進を図るため補助金の見直しを行った。 ・広報・市公式Webサイト等による制度周知を実施した。 ・事業件数 8件(申請10件内2件取下げ) ・制度活用による移住人口 29人 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度補助金の見直しを実施した結果、令和3年度事業件数5件に対し、令和4年度は8件の実績で3件の増。また、移住人口としては、令和3年度16人に対し、令和4年度は29人の実績で13人増となり、移住・定住に寄与した。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
D: 事業終了年度に達した	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
企画政策課の評価	評価理由
D	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 他の事業との優先順位を考慮し、事業終了が適当と判断する。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	4	1	2	雇用	雇用の充実
実施計画事業名					
労政対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
6	01	01	02	労政対策事業	
担当課・係等					
商工観光課 観光経済係					

実施計画整理番号	
304010201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>・長生茂原地区に勤務または居住する労働者とその家族を対象に労働者福祉活動の総合的推進によって、地域福祉の発展と福祉社会の建設を目指すとともに、地域労働者の連帯、強化発展に寄与することを目的とする。</p>	<p>・長生茂原地区労働者福祉協議会への補助金交付。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>・労福協の開催するレクリエーションや文化活動により、茂原市に居住または勤務する労働者や家族の福祉増進が図られ、ひいては施策「雇用の充実」に寄与する。</p>		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	10,148	10,148	10,148	148	148	148			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	10,000	10,000	10,000						
	一般財源	千円	148	148	148	148	148	148			
	人工数	人	0.4			0.4					
	人件費	千円	3,025			3,025					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
勤労者及び家族の福祉増進につながるレクリエーションや文化活動のための補助金を交付する。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
勤労者の経済的・社会的・文化的満足度の向上		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	4	1	2	労政対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	01	02	労政対策事業

整理番号
304010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉働き方改革推進支援センターと連携し、働き方改革による働きやすい職場環境づくりをテーマに、事業主や労務担当者を対象としたセミナーを開催した。 ・長生茂原地区労働者福祉協議会が実施する福祉活動を支援した。(ボーリング大会、金融セミナー、ハウジングセミナー) ・勤労者厚生資金の制度は継続しながら預託の内容を見直して、預託金を10,000千円から0円とした。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・長生茂原地区労働者福祉協議会の活動内容のPRが十分にされていない。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に勤務または居住する労働者がより多く参加するよう、積極的な広報活動を協議する。 	
企画政策課の評価		評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	本事業は、長生茂原地区労働者福祉協議会の活動支援により、労働者等の福祉増進につながるものと認められる。一方で、労働者福祉協議会の活動内容について十分に発信できていないことは課題であるため、積極的な情報発信について同協議会とも協議いただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	2	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
農道整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	05	農道整備事業	
担当課・係等					
農政課基盤整備係					

実施計画整理番号	
301010201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	農業者及び農道利用者の利便性が向上されることで、農作業の省力化や生産性の向上が図られる。	幹線道路の早期整備と支線道路の舗装を推進するとともに、既存農道の適正な維持管理に努める。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

農業者及び農道利用者の利便性が向上されることで、農作業の省力化や生産性の向上が図られる。幹線道路の早期整備と支線道路の舗装を推進するとともに、既存農道の適正な維持管理に努める。

基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)

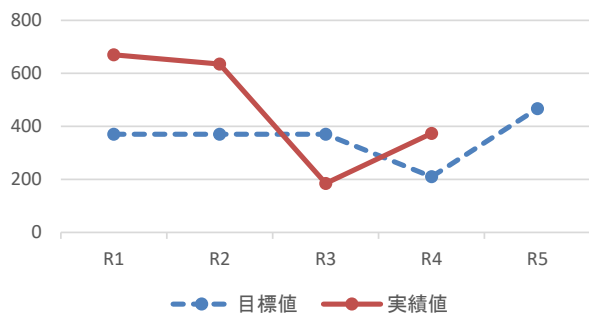
農業生産者の減少と高齢化による人材不足が喫緊の課題となっており、耕作放棄地の増加を招いている。農道整備を実施することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	5,157	13,599	13,428	5,157	7,513	7,249			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円				6,400	6,200				
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,157	13,599	13,428	5,157	1,113	1,049			
人工数	人		0.15			0.15					
人件費	千円		1,135			1,135					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
幹線道路の早期整備と支線道路の舗装を推進するとともに、既存農道の適正な維持管理に努める。	農道整備延長	目標値	370	370	210	467
		実績値	635.6	185	373	
	舗装面積	目標値	875	814	630	1,273
		実績値	593	387	1,027	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図り営農意欲を高める。	要望に対する舗装進捗率	目標値	45.8	45.8	46.0	46.0
		実績値	45.8	45.8	46.0	

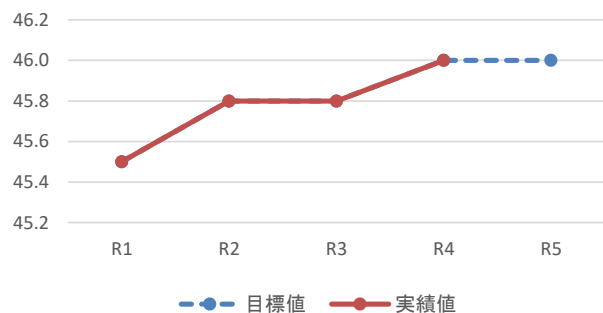
活動指標の動向

農道整備延長



成果指標の動向

舗装進捗率



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	1	2	農道整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	05	農道整備事業

整理番号
301010201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・農道舗装を、延長373m、舗装面積 1,027㎡の2箇所を実施した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・整備要望が多い中で、路線の重要性、利用頻度等を考慮し、適切な事業実施に努める必要がある。 ・引き続きコスト削減が図られるよう努める必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>路線の重要性、利用頻度等を考慮し、適切な事業実施に努めていく。 農道舗装に対する国等の補助事業がないか、関係機関と協議していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>農業者及び農道利用者の利便性の向上につながる事業と認められる。引き続き、路線の重要性等の優先順位を考慮した上、適切な事業実施に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	3	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
用排水施設整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	05	01	用排水施設整備事業	
担当課・係等					
農政課基盤整備係					

実施計画整理番号	
301010301	
総合戦略 整理番号	

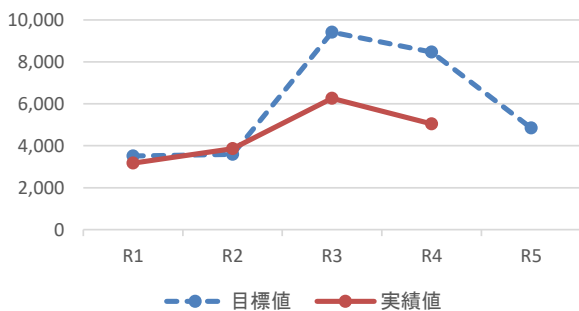
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>受益農家に対し、湛水被害の解消と維持管理の軽減を図る。また、安定した用水を供給することにより、農業経営の安定を図る。</p>	<p>農業施設の新設及び改修を行う県営事業に対し、事業費の負担をする。</p>
	<p>基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)</p> <p>土地改良事業への理解と農業基盤の強化に取り組んでいるが、農業用排水路やため池が老朽化しており、早期整備が課題となっている。用排水施設整備事業を実施することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	37,676	47,253	41,705	43,458	42,652	15,012			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	18,400	18,400	12,800	29,600	22,000	4,600			
	その他	千円									
	一般財源	千円	19,276	28,853	28,905	13,858	20,652	10,412			
人工数	人		2.21			0.65					
人件費	千円		16,242			4,916					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
			<p>・県営事業の整備促進を図るため、事業費負担を実施する。 ・用排水施設整備を実施する。</p>	県営事業に対する事業費負担	円	<p>目標値 3,592 実績値 3,856</p>
	用排水施設整備の件数	件	<p>目標値 3 実績値 8</p>	<p>2 9</p>	<p>2 4</p>	<p>1</p>
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
安定した用水を供給することにより農業経営の安定を図る。	県営かんがい排水事業の進捗率(両総茂原南地区)	%	<p>目標値 62.8 実績値 59.7</p>	<p>63.0 59.7</p>	<p>63.0 69.3</p>	<p>63.0</p>

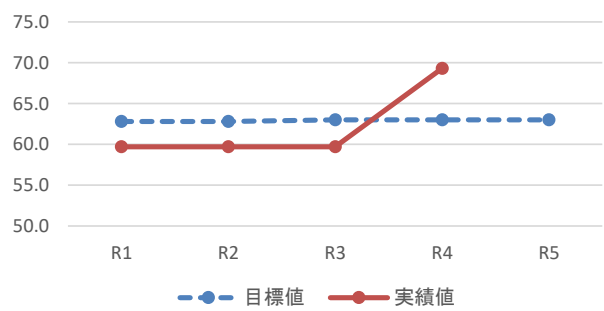
活動指標の動向

県営事業に対する事業費負担



成果指標の動向

県営事業の進捗率



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	1	3	用排水施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	05	01	用排水施設整備事業

整理番号
301010301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・県営事業の整備促進のため事業費負担を実施し、用排水施設整備を5件行った。 ・地元自治会や関係者への説明・協議を行っている。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設の整備には多額の費用を要することから、計画的な事業実施に努める必要がある。 ・引き続き、県営事業や国の交付金を活用することでコスト縮減を図る必要がある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な事業実施のため、地元関係者及び関係機関との連携に努める。 ・国・県の交付金活用のため、より一層の情報収集に努める。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	受益農家の湛水被害の解消と維持管理の軽減に資する事業と認められる。引き続き、関係機関との連携により、計画的かつ効果的な事業実施に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	1	3	農林業	生産基盤の整備
実施計画事業名					
用排水施設維持管理費					

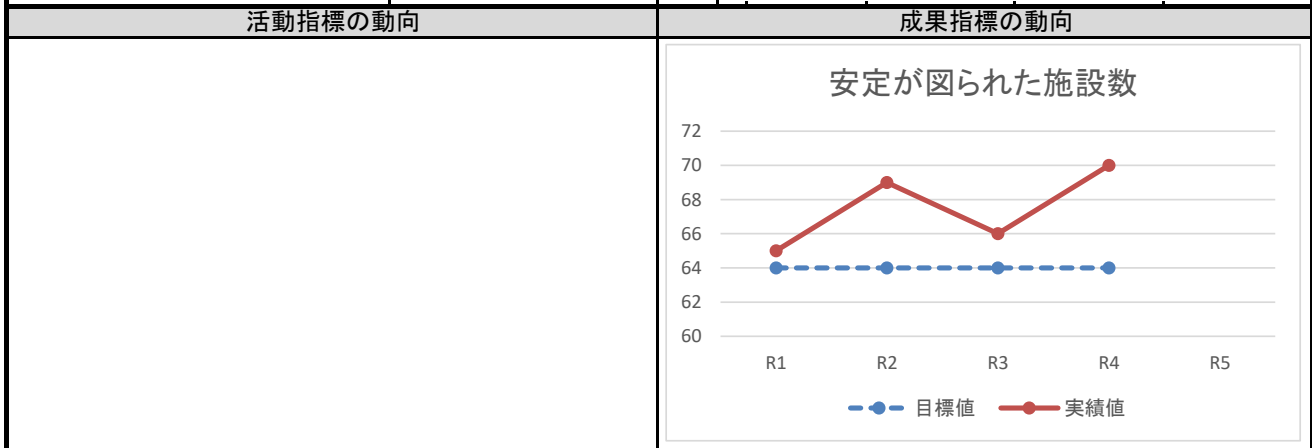
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	06	用排水施設維持管理費	
担当課・係等					
農政課基盤整備係					

実施計画整理番号	
301010302	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	土地改良区・水利組合・自治会等の共同施行者が管理する農業用施設の維持管理費に対し、地元施行者の軽減を図り、農業基盤の安定を図る。	地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	土地改良事業への理解と農業基盤の強化に取り組んでいるが、農業用排水路やため池が老朽化しており、早期整備が課題となっている。地元施工による農業用施設の維持管理費に対し、補助金を交付することで、農作業の省力化や生産性の向上など、農業経営の改善を図ることで営農意欲が高まり、ひいては施策「生産基盤の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	59,236	61,856	57,801	90,651	91,083	82,291			
	国補助	千円									
	県補助	千円	25,203	24,575	24,575	48,953	25,187	24,154			
	市債	千円									
	その他	千円	12,689	12,689	11,675	16,627	36,599	32,423			
	一般財源	千円	21,344	24,592	21,551	25,071	29,297	25,714			
	人工数	人	1.07			0.8					
	人件費	千円	7,621			6,050					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
土地改良区・水利組合・自治会等の共同施工者が管理する農業用施設の維持管理に対し、地元施工者の軽減を図るため、地元施工による農業用施設の維持管理に対し、補助金を交付する。						
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
			64	64	64	64
農業用施設の維持管理費に対し、地元施工者の軽減を図り、農業基盤の安定を図る。	安定が図られた施設数	箇所	69	66	70	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	1	3	用排水施設維持管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	06	用排水施設維持管理費

整理番号
301010302

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・地元農業団体が管理する農業用施設70か所について、維持管理に対する補助等を実施した。 ・地元自治会や関係者への説明・協議を行っている。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も老朽化施設の増加に伴うコスト増が予想される。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き、地元関係者と連携を図るとともに、農業用施設の計画的な維持管理について、適切な補助金交付により農業基盤の安定を図っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>農業用施設の維持管理に対して地元施工者の軽減を図ることで農業基盤の安定が図られる事業と認められる。引き続き、関係機関との連携を図るとともに、より効果的な整備に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	2	2	農林業	農地の確保
実施計画事業名					
農業経営基盤強化促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業	
担当課・係等					
農政課農地保全係					

実施計画整理番号	
301020201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	農地中間管理機構を利用して農地の集積・集約を推進することで、耕作放棄地の発生抑制が図られ、農地の保全につながる。	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市農業振興地域整備促進協議会を開催し整備計画変更協議をする。 ・農地中間管理機構を利用した者に対して協力金を交付する。 ・担い手への利子補給を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

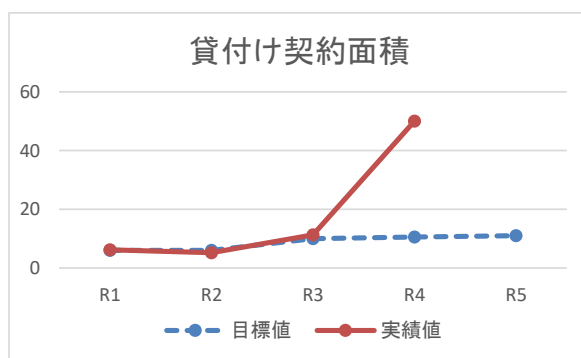
農業生産者の減少と高齢化による人材不足が喫緊の課題となっており、耕作放棄地の増加を招いている。農地中間管理事業を実施することで、農地の集積・集約が図られ、農業経営の基盤強化を促進し営農意欲が高まり、ひいては施策「農地の確保」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	1,398	14,218	8,997	1,219	1,167	169			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	600	10,548	6,946	496	400				
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	798	3,670	2,051	723	767	169			
人工数	人		1.6		0.6						
人件費	千円		9,266		8,604						

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
農地中間管理機構と業務委託契約を締結し、専門職員を配置することで担い手への集積を強化し、耕作放棄地の抑制や解消を図り、優良農地の確保に努める。また、担い手への利子補給を行う。		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
耕作放棄地の発生抑制が図られ、今後も営農が行える農地の保全へとつながる。	貸付け契約面積	ha	6	10	11	11
		実績値	5	11.3	50	

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	2	2	農業経営基盤強化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	02	農業経営基盤強化促進事業

整理番号
301020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・令和3年度より農地中間管理機構と業務委託契約を締結し、農地を貸し付けた地域及び個人を支援しているが、令和4・5年度は、地域タイプと一体的に取り組む場合のみに交付されることになり、事業を実施する地域や個人がいなかった。</p> <p>・担い手への利子補給を6件実施した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	D: 実施していない・実施できなかった		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>・農地中間管理機構との業務委託契約により、担い手への農地集積・集約の推進が図られた。</p> <p>・農地の貸し借りに行う際に詳細な条件面でのマッチングが合わないケースや、既に耕作放棄地となっているなど現状により事業対象農地とならないといったことがあった。</p> <p>・利子補給の実施により、担い手の負担軽減による営農の安定が図られた。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>農地中間管理事業の周知を強化することにより、より多くの様々な条件の農地を集め、母数を増やし、マッチングがうまく進むよう努める。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>担い手への農地集積・集約により、耕作放棄地の発生抑制につながる事業と認められる。より効果的に農地の集積・集約が図られるよう、引き続き農地中間管理機構と連携するとともに、担い手の確保に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	3	3	農林業	経営体と担い手の育成
実施計画事業名					
農業者育成支援事業					

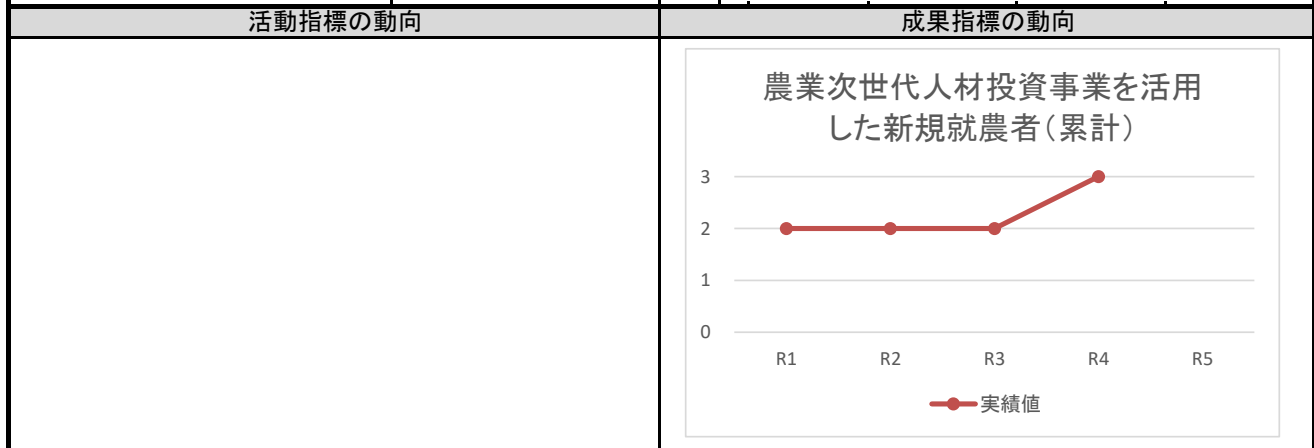
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	09	農業者育成支援事業	
担当課・係等					
農政課振興係					

実施計画整理番号	
301030301	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	新規就農者には技術の習得や所得の確保が課題となっていることから、国の新規就農総合支援事業を活用し、農業次世代人材投資事業の資金を行い、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 農業次世代人材投資資金を交付する。 チラシや千葉県立農業大学校での事業周知を行う。
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)		
農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するにあたり、新規就農者を増加させる必要がある。新規就農するにあたって、就農直後の所得の確保が課題となっていることから、就農に向けた経営開始資金の交付することで、新規就農者の増加をにつなげ、ひいては施策「経営体と担い手の育成」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	10,500	12,000	11,250	13,500	18,384	18,384			
	国補助	千円	10,500	12,000	11,250	13,500	18,384	18,384			
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0			
	人工数	人	0.43			0.43					
	人件費	千円	3,214			3,214					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
茂原市のPR及び新規就農促進を図るため、チラシの周知や千葉県立農業大学校に伺い茂原市の魅力を伝えることで、新規就農者確保に努める。			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
			増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
担い手不足の解消及び新規就農者確保につなげる。	農業次世代人材投資事業を活用した新規就農者(累計)	人	実績値	2	2	3



基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	3	3	農業者育成支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	09	農業者育成支援事業

整理番号
301030301

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>千葉県立農業大学校に伺い茂原のPRをしたことにより、認定新規就農者が1人増加し、農業次世代人材投資事業交付者も3人増加した。 チラシの周知により、新規就農の相談件数の増加につなげた。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
<p>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> 本市における農地全体の8割は水田であるが、水稲に比べ園芸の方が生産しやすいことから、水稲の新規就農者が少ない。 全国の新規就農者がいる自治体では、国の新規就農総合支援事業を活用しているため、いかに差別化を図るか考える必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 本市による農業の魅力を伝えるとともに、水稲を始めるにあたり充実した補助や就農者へのメリット等を分かりやすく説明する。 新規就農相談者に対して、資金面の支援だけでなく、技術支援や専門情報の提供を積極的に行い、就農しやすい環境を整え、新規就農者の増加を図る。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>新規就農者の増加に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、就農意欲の向上のための補助を実施していくとともに、様々な媒体を用いて本市の魅力及び制度の周知に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	1	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
需給調整推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	01	需給調整推進事業	
担当課・係等					
農政課振興係					

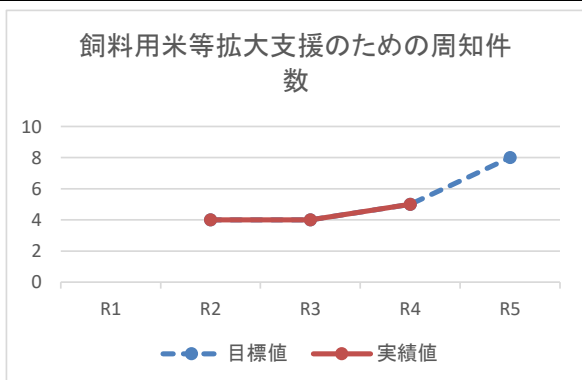
実施計画整理番号	
301040101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>茂原市地域農業再生協議会及び農業者に対して、新規需要米の作付けなど需要に応じた米の生産や、転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組を推進し、農業者の経営改善を目指す。</p>	<p>茂原市地域農業再生協議会に需要に応じた米の生産や転作作物の作付けによる食料自給率向上の取組推進・確認のための事務経費の補助、取組を実施した農業者には対象となる経費の補助を行う。 新規需要米等の転作に取組む生産者に対し補助金を交付する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>茂原市地域農業再生協議会や農業者に対して経費等の補助を行うことで、需要に応じた米の生産や転作作物作付けによる食料自給率向上の取組の推進を図り、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。</p>	

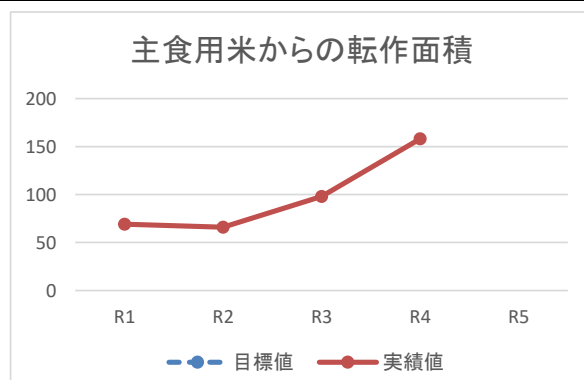
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	8,569	11,073	11,020	10,591	12,253	11,717			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	3,696	5,189	5,187	5,718	7,382	7,017			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,873	5,884	5,833	4,873	4,871	4,700			
人工数	人		1.23			1.23					
人件費	千円		7,847			7,847					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
農家組合と連携を図りながら、パンフレットの配布や集落等への説明会を実施し、飼料用米等拡大支援事業や経営所得安定対策の推進に努める。	飼料用米等拡大支援のための広報等による周知件数	目標値	4	4	5	8
		実績値	4	4	5	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
主食用米から、飼料用米等への作付けによる農業者の経営改善が図られる。	主食用米からの転作面積	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
		実績値	66	98	158	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	1	需給調整推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	01	需給調整推進事業

整理番号
301040101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・主食用米の価格安定と食料自給率の向上を図るためには、米の需給調整は重要な要素であり、飼料用米等の取組を支援することで、生産の推進を図ることができた。</p> <p>・農家組合と連携し、市内の全農家に対して需給調整等に関する情報を周知した結果、主食用米からの転作面積が前年度より増加した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・飼料用米等の作付けが拡大したことで、米価の安定に繋がるかは不透明な部分も多いが、本市の土地質としての転作作物、飼料用米等への作付けを更に推進する選択肢が有効であると考えられる。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・コロナ禍による影響などにより、引き続き不安定な米価が予想されることから、飼料用米等の転作作物の取組者を支援し、生産拡大を図るとともに、農家組合と連携し、需要に応じた米の生産に関する情報を周知する。また、各種補助事業や経営所得安定対策を推進するため、農家への周知や確認事務等を円滑に実施する。</p> <p>・引き続き、飼料用米等への作付けを推進するためには、上乘せ給付や農業機械導入の補助等を検討していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>需要に応じた米の生産を推進することにより、農業者の経営改善につながる事業と認められる。引き続き、様々な手法により効果的な周知に努めていただきたい。</p>

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	2	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
稲作生産効率化促進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業	
担当課・係等					
農政課振興係					

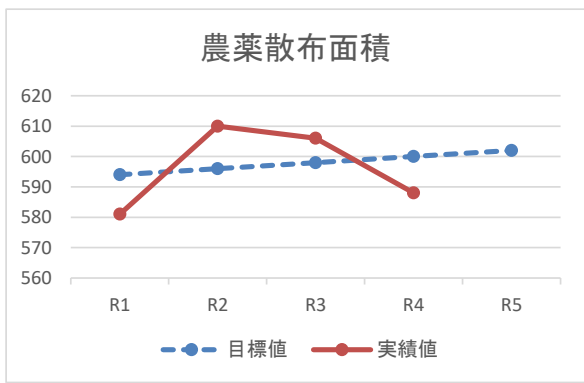
実施計画整理番号	
301040201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施することで農作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上を図る。	産業用無人ヘリコプターによる病害虫防除を実施する。農家負担額を長生郡内で同一水準にするよう補助金を交付する。
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)		
本市における農地全体の8割は水田になっており、米の生産には作業の手間暇が多いため作業の省力化を図り、米の安定的な収穫と品質の向上を図る必要がある。個人による水田の農薬散布の実施については、水田の面積が多く個人による農薬散布は重労働であり時間もかかることが課題となっていることから、本市が散布農地を取りまとめ短期間で一括して産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施し作業の効率化を図ることで、米の安定的な収穫と品質の向上につなげ、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。		

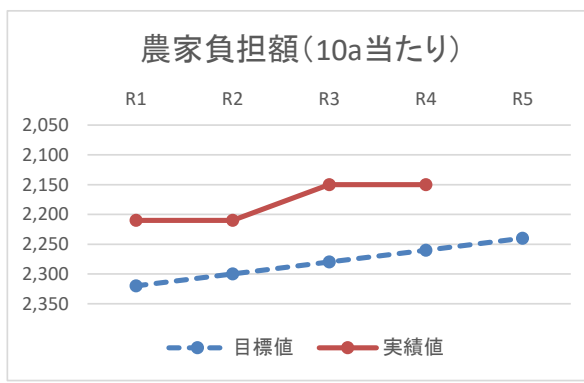
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,790	3,790	3,790	3,790	3,790	3,790			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,790	3,790	3,790	3,790	3,790	3,790			
	人工数	人	0.63			0.63					
	人件費	千円	3,782			3,782					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
産業用無人ヘリコプターによる薬剤の空中散布を実施するにあたり最大の効果と効率を図る為、航空防除の必要性を農家に広く周知し農薬散布面積の拡大に努める。	農薬散布面積	ha	596	598	600	602
		実績値	610	606	588	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
		円	2,300	2,280	2,260	2,240
農家負担額を減らし、更に取り組みやすい空中散布につなげる。	農家負担額(10a当たり)	実績値	2,210	2,150	2150	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	2	稲作生産効率化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	03	稲作生産効率化促進事業

整理番号
301040201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・航空防除実施に伴い周知方法として、農家組合回覧、自治会回覧、広報、市公式ウェブサイトで行ったが、情報発信ツールとしているFacebookの掲載を加え、市民の皆さまがより情報を得やすくなるように努めた。
 ・航空防除を適切な時期に実施し、より効果的な散布をすることで、米の安定的な収穫と品質の向上につなげた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

・航空防除については、安全面に十分留意するとともに、効率的な作業実施により目的を達成した。一方で広報などを使用し、航空防除の実施について広く事前に情報発信をしてきたが、中には情報を受信できていない方もいる。
 ・昨今の物価高騰による農薬の価格高騰は、農業者の費用負担増につながっている。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

・今後においても安全な作業実施と、米の安定的な収穫と品質の向上に努める。
 ・農業者の費用負担増については、農業者へ事前の周知を行うとともに、丁寧な説明により理解を求めらる。

企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当

本事業は水稻農家の農業経営の改善につながる事業と認められる。引き続き、より効果的で効率的な事業実施を検討するとともに、様々な手法により事業の周知に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	3	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
園芸農産振興事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	03	04	園芸農産振興事業	
担当課・係等					
農政課振興係					

実施計画整理番号	
301040301	
総合戦略 整理番号	

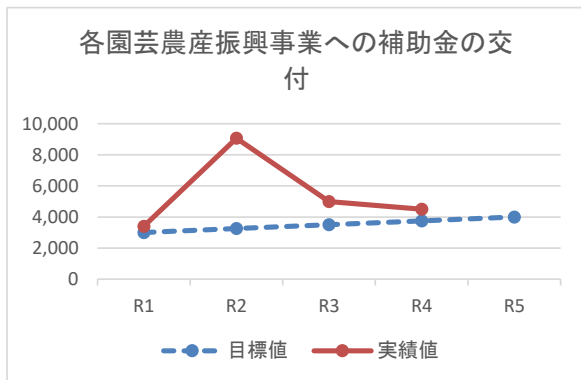
事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
<p>良質な農産物を生産するためには機械化による生産の効率化が必須となっている。また、現在使用している機械の老朽化も激しく、各生産組合の生産者は高齢化も進んでいる。各組合を支援して産地間競争を制する産地化を目指す。農業活動において排出される廃プラスチックの適正な処理を推進する。</p>	<p>各生産組合が実施する施設設置や機械導入、農業振興事業に対して補助金を交付する。茂原市廃プラスチック対策協議会が実施する適正な廃プラスチック処理に対し補助金を交付する。</p>
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>農業従事者の高齢化が急速に進展する中、現在使用している機械や園芸用の施設の老朽化が激しく、良質な農産物を生産するにあたり、機械化及び施設園芸の高度化により生産を効率化させる必要がある。各生産組合に対して支援をして、既存産地の生産力を向上及び産地力の強化につなげ、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	7,163	7,163	4,995	7,592	5,097	3,622			
	国補助	千円									
	県補助	千円	4,141	4,141	2,313	4,570	3,786	2,785			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,022	3,022	2,682	3,022	1,311	837			
	人工数	人	0.43			0.43					
	人件費	千円	3,214			3,214					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
園芸農産振興を図るため、各生産組合や農業者に対して広く補助の周知に努める。	各園芸農産振興事業への補助金の交付	千円	3,250	3,500	3,750	4,000
			9,063	4,994	4,499	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
既存産地の生産力を向上及び産地力の強化を図る。		目標値				
		実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	3	園芸農産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	03	04	園芸農産振興事業

整理番号
301040301

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸農産振興を図るため、各生産組合や農業者に対して補助の周知に努め、4団体に対して農業振興事業についての補助を交付した。 ・園芸農業の生産力強化拡大をするため、認定新規就農者に対して、生産用施設・省力機械に対して助成した。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・県単独の園芸に対する補助はあるが、要件が厳しく取り組みにくいいため、より効果的に支援を実施し、さらなる既存産地の生産力の向上及び産地力の強化につなげる必要がある。 ・農業者の高齢化や担い手の不足の深刻化は継続的な懸念であることから、引き続き支援が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後において、離農が進み、担い手不足に拍車がかからないよう、営農規模の維持、拡大等に努める団体に対して、引き続き、農業用機械等の購入を支援し、地域農業の活性化の推進を図る。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 生産の効率化を支援することで生産力の向上及び産地力の強化につながる事業と認められる。引き続き、農業用機材等の導入を支援することで担い手不足を補い、地域農業の活性化の推進を図っていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	4	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
畜産振興事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	04	01	畜産振興事業	
担当課・係等					
農政課振興係					

実施計画整理番号	
301040401	
総合戦略整理番号	

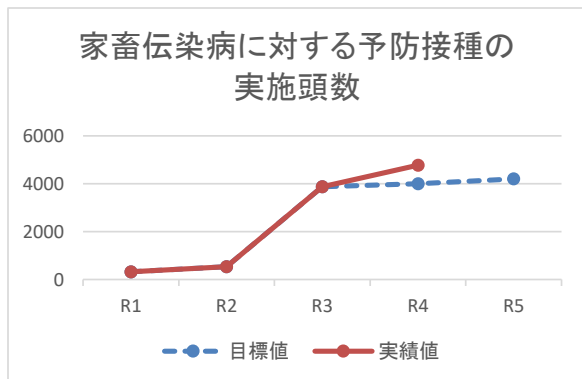
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	畜産の振興を図るとともに、家畜伝染病に対する自主的な防疫活動を推進して畜産経営の安定を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛防疫の一環である予防接種費用に対する補助を行う。 ・畜産団体の運営に対する補助や支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

家畜伝染病の予防接種費用や畜産団体の運営に対する補助を行うことで、畜産振興及び経営の安定を図り、ひいては施策「農業経営の改善」に寄与する。

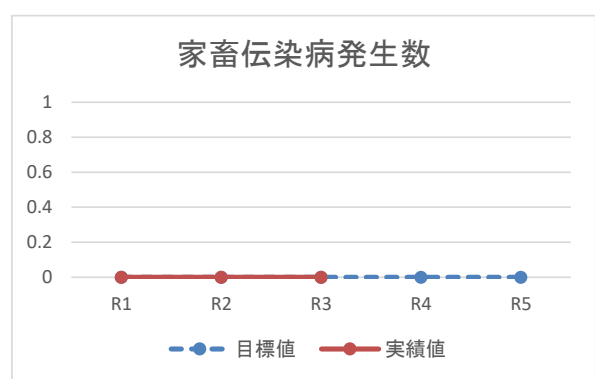
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	787	787	786	14,755	14,254	14,187			
	国補助	千円									
	県補助	千円				14,143	13,742	13,675			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	787	787	786	612	512	512			
	人工数	人	0.33			0.33					
	人件費	千円	2,458			2,458					

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
家畜伝染病に対する予防接種を実施し、自主的な防疫活動の推進に努める。	家畜伝染病に対する予防接種の実施頭数	頭	529	3,872	4,000	4,200
			529	3,872	4,775	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
家畜伝染病の発生を未然に防ぎ、畜産経営の安定を図る。	家畜伝染病発生数	件	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます	発生を防ぎます

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	4	畜産振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	畜産振興事業

整理番号
301040401

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・牛アカバネ病、牛三種混合、豚熱の予防接種に対して支援を行ったことにより、市内において家畜伝染病の発生は確認されなかった。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>畜産農家の減少に対応するため、畜産振興事業の拡大や家畜伝染病の発生に備えた防除体制を確立する必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、防疫活動や畜産団体に対する補助を行い、畜産経営の安定に努める。 ・輸入飼料価格の高騰により畜産農家の経営が厳しい状況になっており、自給飼料生産の拡大や安定供給のため、関連機械の導入に対して補助を行う。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>本事業は、既存畜産農家の経営支援につながる事業と認められる。一方で、本市の畜産振興及び畜産農家の減少抑制につながるとは判断できない。引き続き、畜産振興により効果的な支援内容についても調査・研究いただきたい。</p>	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
3	1	4	5	農林業	農業経営の改善
実施計画事業名					
環境にやさしい農業推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
5	01	04	01	環境にやさしい農業推進事業	
担当課・係等					
農政課振興係					

実施計画整理番号	
301040501	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	農業の持続的発展を図るためエコファーマーの認定促進や有機農業などの環境にやさしい農業を推進する。また、環境負荷の軽減に配慮した営農活動に取り組む農業者団体等の追加的コストを支援し、環境にやさしい農業の推進を図る。	自然環境の保全に資する農業生産活動を実施する生産者や農業者団体に補助金(交付金)を交付する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

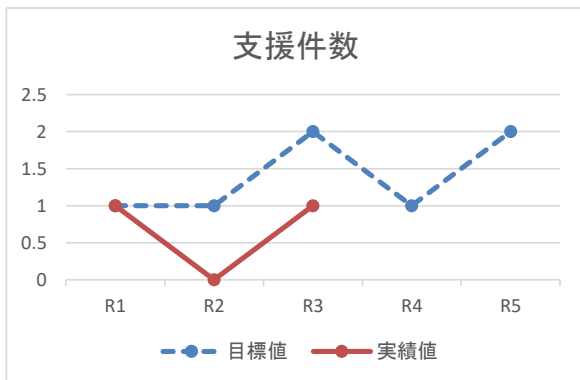
農業の持続的発展を行っていくために有機農業や緑肥などの地球環境にやさしい農業への取組をする農家に対して支援を行う。持続可能な農業への取組に協力することにより結果として施策「農業経営の改善」に寄与することができる。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円		213	213	0	213	0	0		
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	159	159	0	159					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	54	54	0	54					
人工数	人		0.23			0.23					
人件費	千円		1,702			1,702					

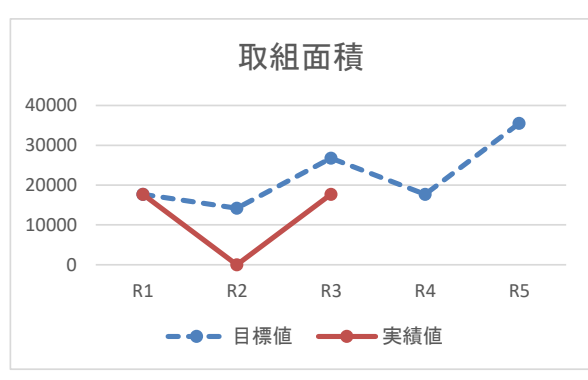
手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
環境にやさしい農業の推進として、カバークロップに取り組む農家に対して支援を行う。	取組件数	件	目標値	1	2	1	2
			実績値		1		
成果	成果指標	単位	目標値	17,700	17,700	17,700	30,000
			実績値		17,700		

※カバークロップとは…それ自体は収穫にならないが、土壌侵食防止や土壌改良に役立つ作物。

活動指標の動向



成果指標の動向



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
3	1	4	5	環境にやさしい農業推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
5	01	04	01	環境にやさしい農業推進事業

整理番号
301040501

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・令和2年度より、要綱の改正が行われたため過去取組実績のある2団体が実施要件を満たすことが出来なくなり、事業を実施することができなかった。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・次年度以降、事業を実施できるよう、努める必要がある。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>令和2年度からの要綱改正による実施要件変更により、近年において実施がなかった、次年度においては、1つの団体が実施要件を満たしたことから、支援を行っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>環境負荷の軽減に配慮した営農活動を促進し、農業の持続的発展が 図られる事業と認められる。引き続き、環境にやさしい農業に取り組む 農業者を支援するとともに、情報収集・情報提供を実施していただき たい。また、持続可能な農業の必要性についても周知を図り、取り組む農 業者の支援に努めていただきたい。</p>